

地域の自然を伝えたい！

六沢地区環境保全会（尾花沢市）



中原温水ため池での
生き物調査の様子



六沢地区環境保全会 副代表
(鶴子六沢土地改良区 理事長)
菅野 修一さん



尾花沢市南東部にある六沢地区では、六沢地区環境保全会が多面的機能支払交付金を活用し、水路や農道整備などの保全管理をする農地維持活動のほか、子どもたちへの環境学習に力を入れて取り組んでいる。

環境学習の具体的な取り組みとして、地元の常盤とこむら小学校の4・5・6年生を対象とした生き物調査を行っている。中原温水ため池をフィールドにした調査では、ホトケドジョウやメダカなど、多くの生き物を確認することができる。昨年は、六沢地区の子どもたちとその保護者を対象に、堤体の改修工事が完了した鶴沢ため池の見学会も行った。

保全会の副代表である菅野さんは、「田んぼへ水がどう流れるかということや、ため池には多くの生き物が住んでいること、この水のおかげで米が出来ることを学んで、六沢地区の良さや自然、歴史について、知って欲しいという思いで活動している。今後も、子供たちに六沢地区の自然や農業を伝え、興味を持ってもらえるよう続けていきたい。」と話してくれた。

六沢地区環境保全会 年間スケジュール

3月 報告書の作成等
 ~ 次年度の計画、
 12月 事務処理や
 11月 花植栽の
 後片付け
 10月 水門点検補修
 9月 農道整備（砂利）
 8月 環境学習
 7月 水路等の草刈り
 6月 花植栽活動
 5月 農道整備（舗装）
 4月 水路泥上げ



環境学習（鶴沢ため池についての勉強会）



農道整備



環境学習（鶴沢ため池堤体見学）



花植栽活動



環境学習（生き物調査）



水路泥上げ

多面的機能支払交付金ってなに？

ためんてききのうしほらい

多面的機能支払交付金とは、農業・農村のもつ「洪水を防ぐ機能」や「生きものすみかになる機能」などといった多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する制度です。

多面的機能支払交付金

①農地維持支払交付金

地域資源の基礎的な保全活動や、適切な保全管理のための推進活動
 【例】水路の泥上げ、農道の路面維持など

資源向上支払交付金

②地域資源の質向上を図る共同活動

【例】ひび割れの補修、生き物調査など

③施設長寿命化のための活動

【例】未舗装農道の舗装、素掘り水路からの更新など

～ 全国と山形県の実施状況 ～

①農地維持支払交付金

②資源向上支払交付金(共同)

③資源向上支払交付金(長寿命化)

全国 55%
 山形県 70%

全国 48%
 山形県 54%

全国 18%
 山形県 38%

【問い合わせ先】

活動について 鶴子六沢土地改良区 TEL 0237-28-2863

多面的機能支払について 山形県庁農村計画課 TEL 023-630-3189